

**Canon**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

# 第52期 中間報告書

2019年1月1日 ▶ 2019年6月30日



## CONTENTS

株主のみなさまへ

業績ハイライト

Pick Up News

環境・社会への取り組み

表紙写真

野町和嘉

キヤノンカレンダー2019

「World Heritage Journey 世界遺産を訪ねて」より  
ドゥブロヴニク旧市街／クロアチア

EOS 5Ds

EF24-105mm F4L IS II USM

1/180秒 f8 ISO320

ITソリューションビジネスに注力し、  
収益性を高めながら  
増収、増益を目指してまいります。



株主のみなさまには、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当中間期における当社グループの業績は、これまで成長のドライバーと位置付け注力してまいりましたITソリューションビジネスを、市場の成長とも相まって大きく成長させることができましたが、低調となっているデジタルカメラやビジネス機器といった既存ビジネスが大きく減少したため、売上高は微増にとどまりました。一方、営業利益につきましては、ITソリューションビジネスの収益性を高めるとともに、コスト削減を引き続き行い、筋肉質な組織への転換を進めてきた結果、前年と比較して大きく成長させることができました。

今期後半もカメラやプリンターの市場環境は厳しい状況が続くと見込んでおり、全体の売上高が大きく増加する見通しではありませんが、引き続きITソリューションビジネスに注力することにより、収益性を高めながら増収、増益を目指してまいります。

なお、中間配当金につきましては、1株あたり30円(前期比5円増額)とし、年間は期初に公表した金額から変更せず、1株あたり60円(前期と同額)を予定しております。

引き続き株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2019年8月

代表取締役社長 坂田正弘



# Financial Highlights 業績ハイライト

当期より報告セグメントの区分を変更しており、以下の文章における増減に関する記載は、変更後の区分に組み替えた前中間期との比較に基づいています。各セグメントの売上高を合計した数字は、セグメント別売上高における「その他」の金額が含まれないため、円グラフ中央の売上高と異なります。なお、構成比率は、各セグメント別売上高の単純合計額を基に算出しています。\*「その他」は、コールセンターおよびBPOサービス事業ならびにセグメント間取引消去で構成されています。

(表示単位未満四捨五入)



## プロフェッショナル

売上高 ..... **232**億円  
営業利益 ..... **13**億円

**概況** ヘルスケアは横ばいであったものの、プロダクションプリンティングが低調だったため、減収となりました。



## コンシューマ

売上高 ..... **577**億円  
営業利益 .....  $\Delta$ **3**億円

**概況** レンズ交換式デジタルカメラの販売減により、減収となりました。



## エリア

売上高 ..... **1,328**億円  
営業利益 ..... **70**億円

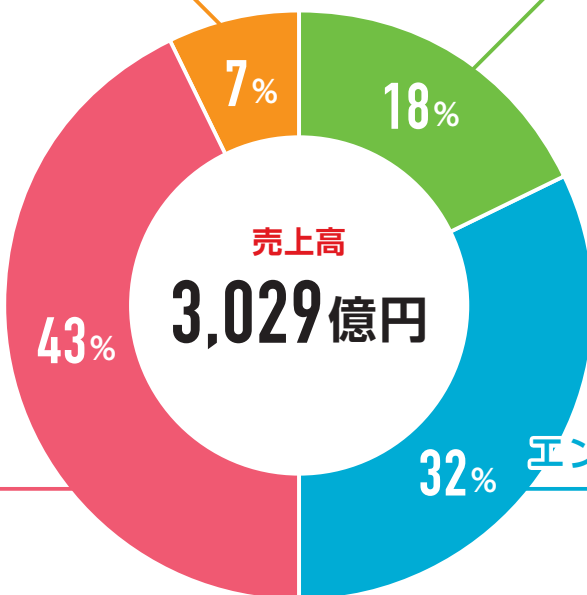
**概況** 主要なビジネス機器が減少したものの、中堅・中小企業向けのITソリューションが増加し、増収となりました。



## エンタープライズ

売上高 ..... **987**億円  
営業利益 ..... **55**億円

**概況** SIサービス、ITインフラサービス等のITソリューションが順調に推移し、増収となりました。

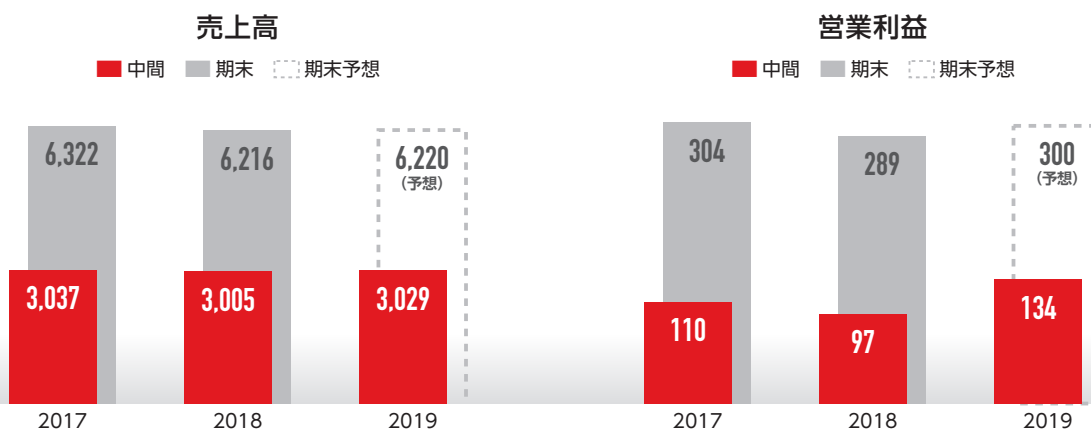


## その他\*

売上高 .....  $\Delta$ **96**億円  
営業利益 .....  $\Delta$ **1**億円

## 売上高・営業利益推移

(単位:億円、単位未満四捨五入)

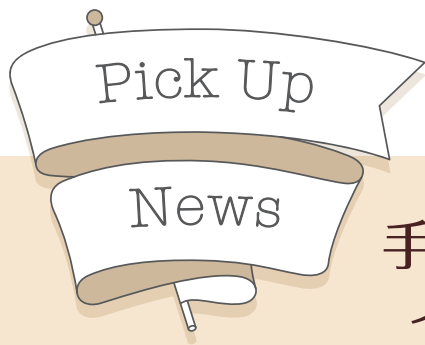


詳細な業績については、  
当社IRサイトをご覧ください。  
[canon.jp/8060-ir](http://canon.jp/8060-ir)



## IRメールマガジンのご案内

IR情報ははじめ各種IRイベントや無料セミナー等の様々な情報をお送りしています。  
当社IRサイトよりご登録ください。



# 手軽に撮影・プリントを楽しめる インスタントカメラプリンター

# iNSPiC

## “iNSPiC ZV-123 / CV-123”を発売

内蔵カメラで写真を撮影して、すぐにプリントできるカメラ機能付きプリンターiNSPiC ZV-123 / CV-123を発売しました。一般的なスマートフォンと同程度の手のひらサイズで携帯性に優れ、外出先でも手軽に写真プリントを楽しむことができます。



iNSPiC ZV-123 (パールホワイト)



iNSPiC ZV-123 (マットブラック)



iNSPiC CV-123 (ホワイト)

本製品では、Zero Ink® Technologyを採用し、紙とインクが一体となった専用のフォトペーパーに簡単にプリントができます。

用紙はシール紙なので、好きなものに貼ることができ、切り貼りすることで手帳に写真付きの記録を残したり、メッセージカードやオリジナルグッズなどの創作をしたりすることもできます。

アイデア次第で新しい写真の楽しみ方が広がります。

※Zero Ink® Technologyは、ZINK HOLDINGS LLC.の商標または登録商標です。



### POINT

今回の新製品の導入にあたっては、マーケティングプラン全般の検討を、組織横断型のマーケティング活動であるichikaraプロジェクトにて行いました。本プロジェクトはターゲット層である若手女性社員を中心として構成され、世代の声を活かしたマーケティングプランを立てて活動しています。

手帳での活用というニーズに応え文房具や雑貨を扱う店舗での販売にも力を入れるなど、iNSPiCの活用方法などの市場の声をいち早く反映しトレンドに沿ったPRをすることで新しい顧客層の開拓につながるよう、日々メンバー間でアンテナを高くしながら情報共有を行っています。

# 2020年夏 西東京データセンター 新棟誕生

Pick Up News

## ストック型ITサービス事業拡大のため、 西東京データセンター新棟を2020年に稼働

当社と当社子会社のキャノンITソリューションズ株式会社は、西東京データセンター新棟の建設を2019年3月1日より開始し、2020年夏のサービス稼働開始を目指します。



### なぜデータセンターの需要が高まっているのですか

ネットショッピングや電子マネーの普及、様々な手続きのオンライン化など、生活の中でも、あらゆるシーンでIT化が進んでいることを感じられるのではないのでしょうか。

少子高齢化により国内の労働人口が減少していることから、企業における人手不足が大きな課題となり、ITによる業務の自動化や効率化といったIT需要も一層高まっています。

このような背景の下、生み出されるデジタルデータは急増しています。

さらに、個人や自社内での利用・保管であったデータやソフトウェアも、インターネットを通じて、オンライン上で外部のサービスを利用したり保管するクラウド化が急速に進んでいます。

そこで、これまで以上に、大量の電子データを安全に保管・利用できるデータセンターが必要となっているのです。

#### IT化によるデジタルデータ急増

ネットショッピング・  
電子マネー・  
オンライン手続きなど、  
生活のIT化

少子高齢化  
労働人口減少

↓  
企業における業務  
自動化・効率化

+

データ・ソフトウェアのクラウド化

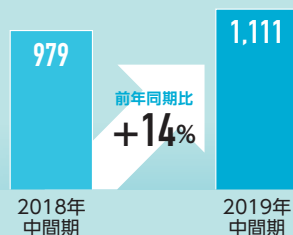
当社では、企業の重要な情報資産の保管場所としてのデータセンターのみならず、データセンターを中核とした、ITインフラサービス事業をさらに強化し、データセンターサービスやクラウドサービス、システム運用サービスなどといった長期継続的なストック型ITサービス事業を拡大していきます。

### グループITソリューションの状況

当社グループは、お客さまのITを活用した業務効率化のニーズに応えるために、大企業向けのシステム開発やデータセンターサービス、中堅・中小企業向けのクラウドサービスやセキュリティ対策など、お客さまのビジネスを支援する最適なソリューションを提供しています。このITソリューションビジネスは、当社がM&A等を通じて技術・ノウハウを培ってきた分野であり、今後大きな成長を見込んでいます。当中間期の各部門売上高に含まれるグループITソリューション売上高の合計は1,111億円となり、前中間期に比べ14%の増加となりました。

#### グループITソリューション売上高

(単位:億円、単位未満四捨五入)



# Q ESGやSDGsというキーワードが注目されていますが、社会や環境問題に対してどのような取り組みをしていますか？

## トナーカートリッジ回収を通じた環境・社会貢献活動

近年プラスチックゴミによる環境汚染が大きな問題となっています。

キヤノングループでは限りある資源の有効活用と廃棄物削減のため、1990年からトナーカートリッジの回収を開始し、現在では使用済みトナーカートリッジから選別純度99%以上の素材を再生産し新品カートリッジの製造に用いるなど資源循環型社会の実現に取り組んでいます。

当社グループでは「マーケティング企業」ならではの環境活動として、全国の回収拠点設置や様々な回収ルートの展開に加え、法人のお客さま向け「納品同時回収サービス」による回収自体のCO<sub>2</sub>排出量の低減や、回収・リサイクルと連動した社会貢献活動に取り組んでいます。

関連するSDGs

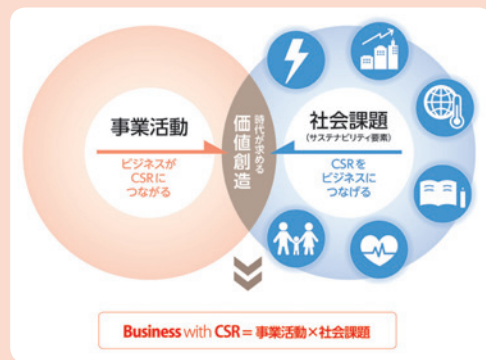


## Business with CSR ～時代が求める、新しい価値を創造するCSR活動～

当社グループでは、「CSR活動は、マーケティングそのもの」というキーコンセプトに基づき、現代社会における要請や期待といえる、“サステナビリティ要素”を融合させた、製品・サービス、ソリューションの提供を目指しています。

事業活動を通じた、社会課題の解決や社会価値の提供こそが、一過性や断続的ではない、企業と社会の持続的な相乗発展に結びつくと考えています。

こうした時代が求める、新しい価値を創造するCSR活動を「Business with CSR」というスローガンのもとに展開しています。



### NEWS!

日本経済新聞社が実施した第22回「環境経営度調査」において、「環境経営推進体制」「資源循環」の項目で高評価を得て、非製造業・商社部門のランキングで1位となりました。

### 配当金お受け取り方法のご変更について

### Q 配当金受け取りの度に郵便局窓口に行っていますが、郵便局に行かずに配当金を受け取ることはできますか？

## 配当金は銀行や証券会社の口座でもお受け取りいただくことができます。

今後の配当金をより安全かつ迅速にお受け取りになるためにも、配当金お受け取り方法を、配当金領収証でのお受け取りから銀行や証券会社の口座でのお受け取りにご変更されることをおすすめいたします。

配当金お受け取り方法のご変更お手続きにつきましては……

証券会社にて株式をお持ちの場合 → 証券口座を開設された証券会社へお問い合わせください

証券会社にて株式をお持ちでない場合 → みずほ信託銀行株式会社 (0120-288-324) へお問い合わせください

この機会にぜひ配当金お受け取り方法のご変更をご検討ください。